



「中小企業家しんぶん」2016年5月5日号付録

同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ

中小企業家同友会全国協議会 第48回 定時総会

IN 大阪

2016年 7月14日(木) 13:00開会 ~ 7月15日(金) 12:00閉会

会場 シェラトン都ホテル大阪
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-1-55(大阪)
TEL.06-6773-1111/FAX.06-6773-3322

主催 中小企業家同友会全国協議会
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16
市ヶ谷KTビル3F
TEL.03-5215-0877/FAX.03-5215-0878
http://www.doyu.jp

設営 大阪府中小企業家同友会
〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-30
谷町八木ビル4F
TEL.06-6944-1251/FAX.06-6941-8352
http://www.osaka.doyu.jp

参加費: **25,000円** (宿泊費別)

大阪の福の神「ビリケンさん」も皆様のお越しをお待ちしています!



中小企業家同友会全国協議会

第48回 定時総会 IN 大阪

同友会理念の実践で人が輝く持続可能な社会へ

総会概要 2016年7月14日(木)~15日(金)



1日目 7月14日(木)

- 12:00 受付開始(各分科会会場にて受付)
- 13:00 全体会開会
総会提案
- 14:00 全体会終了 分科会移動
- 14:30 分科会開始
- 19:00 懇親パーティー
- 20:30 1日目終了

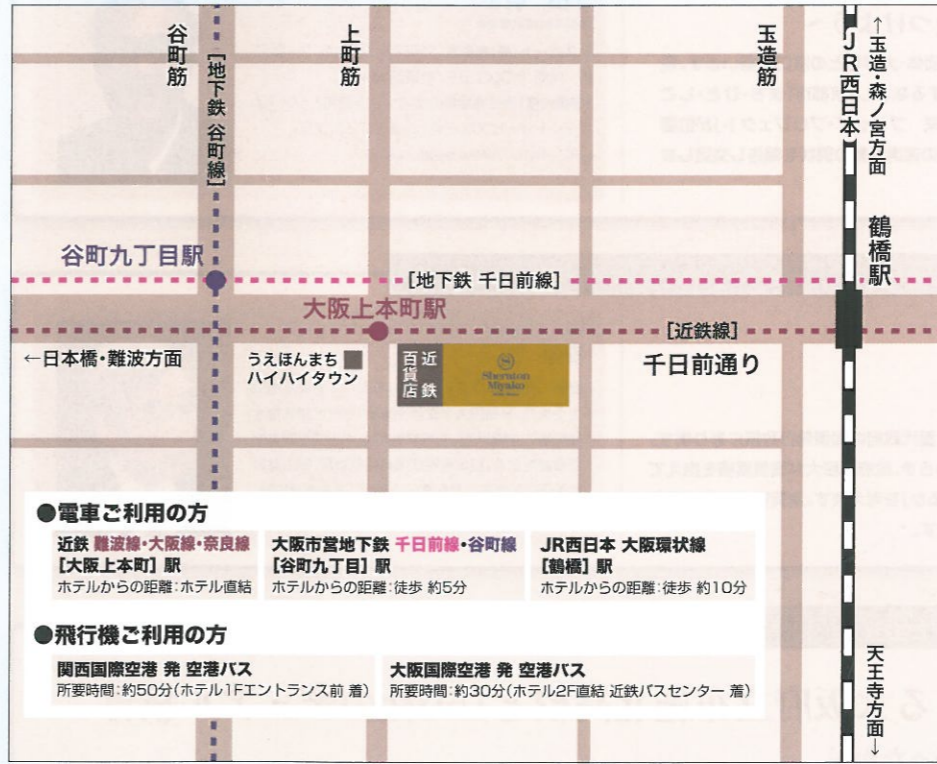
会場 シェラトン都ホテル大阪
参加費 25,000円(宿泊費別)

2日目 7月15日(金)

- 9:00 全体会再開
来賓挨拶
分科会報告
議案採択
パネル討論
山中伸弥教授 特別挨拶
- 12:00 閉会

主催 中小企業家同友会全国協議会
設営 大阪府中小企業家同友会

アクセス



〈ご参考〉宿泊施設を一部ご紹介いたします。

- 会場近隣のホテル**
- ダイワロイネットホテル大阪上本町
大阪市天王寺区上本町6-7-5 TEL 06-4305-1955
 - ホテルアウィーナ大阪
大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12 TEL 06-6772-1441
 - 大阪国際交流センターホテル
大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL 06-6773-8181
 - FOR LEAVES INN 上本町
大阪市天王寺区東高津町6-19 TEL 06-7173-7444

- シェラトン都よりバス移動圏内**
- 天王寺都ホテル
大阪市阿倍野区松崎町1-2-8 TEL 06-6628-3200
 - 大阪マリオット都ホテル
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 TEL 06-6628-6111

- 難波エリア周辺**
- ホテル日航大阪
大阪市中央区西心斎橋1-3-3 TEL 06-6244-1111

- 天満橋エリア周辺**
- 大阪キャッスルホテル
大阪市中央区天満橋京町1-1

※宿泊施設への予約、会場への移動は各人でお願います
※インバウンドの影響で、早期満室になる場合がございます。
※宿泊予定の方は、自己手配のうえ、お早めにご予約下さい。

中小企業家同友会全国協議会 第48回定時総会〈参加申込書〉

ふりがな	企業名	希望分科会
名前	性別(男・女) 役職	第1希望 分科会 第2希望 分科会

※お申し込みは所属同友会事務局までお願いいたします。
※会場の関係などで、第2希望の分科会になる場合もございます。ご承知おきください。
※本登録内容は行事設営のために中同協の管理のもとに参加者名簿に活用し、それ以外に使用することはありません。
※本行事の様態を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。
※6月30日(木)以降のキャンセルは、参加費の全額ご負担いただきます。

中小企業家同友会全国協議会 第48回定時総会 IN 大阪 分科会

第1分科会 中同協:世界経済・日本経済・地域経済


情勢をどうみるか

～中小企業の元気が日本の未来を拓く～

マイナス金利政策などアベノミクスの行き詰まりや世界経済の不安定性もあり、中小企業を取り巻く情勢の不透明感は増すばかりです。中小企業の発展には、自らの仕事は自ら創り出し、正当な価格を付ける「独立中小企業」をめざさなくてはなりません。そのためには強みを活かす経営戦略と人間尊重経営の実践、そして市場取引の公正化が必要です。情勢認識を深め、めざすべき企業を考えます。

専攻大学ビジネス創造学部 教授
黒瀬 直宏 氏

黒瀬直宏氏 プロフィール ● 1944年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。東京都立大学大学院社会科学科修士課程修了。専攻大学商学部教授などを経て、現在、嘉悦大学ビジネス創造学部 教授。博士(経済学)。主な著書:『独立中小企業を目指そう 独立企業化、人間尊重、労使連携、社会変革』(同友会 2015年)、『複眼的中小企業論～中小企業は発展性と問題性の統一物～』(同友会 2012年)、『中小企業政策』(日本経済評論社 2006年7月)など



第2分科会 中同協:同友会運動の歴史と理念


同友会運動の歴史と理念の形成

～その先見性と普遍性を考える～

1947年全中協(全日本中小工業協議会)を出発点とし、57年日本中小企業家同友会創立、69年中同協設立。常に時代と正面から向きあい、自主的な中小企業運動を推進してきた同友会運動の歴史を検証し、同友会理念の形成、深化を学びます。「三つの目的」の実現を掲げ、「自主・民主・連帯の精神」に立ち、「国民や地域と共に歩む中小企業」をめざす同友会運動の今後の方向を実践的に考え、学びあいます。

(株)千代田エネルギー 相談役
田山 謙堂 氏

田山謙堂氏 プロフィール ● 1930年東京生まれ。慶応義塾大学卒業。56年千代田製油株式会社(現在の千代田エネルギー)入社。58年同友会入会し、社長就任。2000年より会長。東京同友会代表理事等を兼ねながら、69年中同協発足と同時に幹事長、85年に会長、91年相談役幹事、96年顧問。著書『変革と継承～「労使見解」の起草と「人を生かす経営」実践への道』



第3分科会 中同協:平和問題

戦争と中小企業

～いまこそ平和を考える学習運動を～

戦後70年を迎えた昨年は中同協総会、全研で平和問題の分科会がもたれました。自由と民主主義が優れるとき、社会は「戦争」に向かうこと、中小企業家として経営理念に「平和」を取り込むなどして考えていこうと確認されました。本分科会では、植田氏からの第二次世界大戦前後の中小企業の研究をもとにした課題の提起、当時を知る会員の浅海氏の報告とともに、「日本経済の自主的・平和的な繁栄」に向け中小企業家として何をすべきか考えます。

慶応義塾大学 経済学部 教授
植田 浩史 氏

植田浩史氏 プロフィール ● 大阪市立大学経済研究所助手、講師、助教を経て、2005年より同教授。2006年より慶応義塾大学大学院経済学専攻科教授。2004年度、中小企業研究奨励賞本賞受賞。中小企業論、経営史、産業史を専攻。現在、中同協企業環境研究センターの副理事長を務める。『戦時日本の下請工業』(単著)、『現代日本の中小企業』(単著)、『縮小時代の産業集積』(編著)、『中小企業 ベンチャー企業論』(共著)、『日本中小企業研究の到達点』(編著)など著書多数。



みらい経営研究所 代表
浅海 正義 氏

浅海正義氏 プロフィール ● 1928年3月生まれ。菊水化学工業(株)発足と同時に入社、役員を歴任し、株式上場の足がかりを作る。93年定年退職後、95年社会福祉法人「ゆたか福祉」の副理事長に就任。現在は顧問。また、2012年より「みらい経営研究所」の代表を兼務。愛知同友会では労務労働委員会の副委員長を始め、外郭団体である、愛知県中小企業研究財団の役員を歴任。



第4分科会 中同協:経営指針の成文化と実践の運動


経営指針の成文化から実践運動へ

～『経営指針成文化と実践の手引き』(改訂版)の活用を～

経営指針成文化の運動は全国的に広がりましたが、経営指針に「労使見解」が反映されているか、実践し成果につながっているかが課題となっています。『経営指針成文化と実践の手引き』の改訂に携わったプロジェクトのメンバーが、新しい「手引き」のポイントなどを報告。今後の経営指針成文化実践運動をいかに展開するかを学びあいます。

<パナリスト>

東日本機械開発 代表取締役 水戸谷 剛 氏
岩手同友会副代表理事 経営労働委員長
ワコウクリンサービスマ 代表取締役 吉武 恭介 氏
徳島同友会理事 経営労働委員長
高橋 賢 氏
富山同友会副代表理事 経営労働委員長
ニイガタ 代表取締役 渡辺 学 氏
神奈川同友会理事 経営労働委員会相談役
税理士法人アイデア 代表社員 税理士 田中 久喜 氏
京都同友会理事 人を主とする経営実践推進部長
和歌山同友会副代表理事 森 茂博 氏
<コーディネーター>
東洋産業 代表取締役 玄地 学 氏
中同協経営労働委員長 「経営指針作成の手引き」改訂プロジェクト責任者
宮城同友会副代表理事



第5分科会 神奈川:社員教育活動・経営指針の実践


社員教育と経営指針が会社を変える

～同友会の学びと実践が全社一丸経営を実現させる～

リーマンショックで一気に売上が激減。社内で問題も起こるなど悪戦苦闘の毎日。そんななかでの同友会との出会いは、今までの成り行き経営からの脱却の大きなきっかけになりました。社員教育と経営指針の実践は全社一丸経営を実現させます。神奈川同友会経営労働委員長、前社員教育委員長として同友会の社員教育活動そして経営指針の実践が会社と経営者を変えることを、事例を交えて報告します。実践報告のもと本テーマを学び合います。

(株)東邦プラン 代表取締役
本多 修 氏

本多修氏 プロフィール ● 1989年/資本金:5,000万円/年商:9億2000万円/社員数:32名/事業内容:折込チラシの制作・印刷および配布企画/パンフレット・DM・雑誌等の制作～印刷デジタルコンテンツ運用ソリューション、ホームページの企画・制作



第6分科会 徳島:「人を生かす経営」の実践

人を生かす経営を自社と同友会で実践する

～労使見解を自社で、同友会で、同友会事務局で、地域で～

マクドナルドのフランチャイジーとして独立し、順調に成長してきたサンフォートは、近年次々と大きな困難がふりかかり、苦境に陥りました。経営理念の基、共に育ちあうことや、ファンがいっぱいの店舗づくり、徳島の発展や地域貢献を重視してきました。現在は、「労使見解」を社内でも共有し、乗り越えつつあります。徳島同友会代表理事に就任し、同友会づくりでも「労使見解」を実践し、13年連続増強中で過去最高会勢となっています。「同友会らしい人を生かす経営」の実践報告から、労使見解について深めます。

(株)サンフォート 代表取締役
山城 真一 氏

山城真一氏 プロフィール ● 徳島同友会 代表理事 ● 創業:1990年/資本金:1,000万円/年商:18億円/社員数:486名(内450名パート・アルバイト) 【事業内容】日本マクドナルドフランチャイジー URL http://sunfort-tk.com/



第7分科会 中同協:震災復興

宮城県南三陸町中小企業実態調査と企業づくり・地域復興

～持続可能な地域社会構築のために～


南三陸町からの依頼で「中小企業実態調査」を引き受けた宮城同友会南三陸支部。調査から浮き上がったのは、復興のリーダーシップを発揮したのは同友会会員の姿でした。町長からは「南三陸町の復興の立役者は同友会」との言葉も。現在の経営課題を復興条例に反映させる予定です。人口減少・流出の現状をどう捉えるのか、地域の負担に応えられる企業づくり・地域づくりの課題とは何か、を考えます。

立教大学 名誉教授
菊地 進 氏

菊地進氏 プロフィール ● 神奈川県生まれ。1973年千葉大学理学部卒業。1984年立教大学経済学専攻 修士課程単位取得し退学。1996年より立教大学経済学部教授。1983年より中同協・企業環境研究センター委員となり現在同センター副部長。著書1996年『社会科としての統計学3集』経済統計学会、2009年『格差社会の統計分析(現代社会と統計)』共著、北海道大学図書刊行会ほか

(株)カネキ吉田商店 代表取締役
吉田 信吾 氏

吉田信吾氏 プロフィール ● 宮城県同友会 南三陸支部長 ● 創業:1982年/資本金:3,700万円/年商:23億円/社員数:95人/正規95人、パート10人 【事業内容】あわび・ういづ・社講・海産品加工、卸売 URL http://www.kaneki-yoshida.co.jp




第8分科会 京都:行政との連携

政令市行政区ごとの支部で地域活動を展開

～“地域”を実感して振興条例制定の力をつけよう～

京都市では11行政区に11支部が対応し、支部が行政・地域団体・大学等との窓口を担います。役員が区の基本計画の審議委員を務めたり、大学の講義を担当するなどし、京都市「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略に、当会提案の「学生×企業×未来 ブリッジプロジェクト」が位置づけられました。大都市部での「地域活動」の一例として区単位の連携活動の現状を報告し交流します。地域や行政との連携について学びあいます。

シスポート(株) 代表取締役
米田 明 氏

米田明氏 プロフィール ● 京都同友会副代表理事 ● 創業:1981年/資本金:2,400万円/年商:7,000万円/社員数:8人 【事業内容】販売管理等の業務ソフト開発とシステムサポートサービスなど中小企業のIT活用支援 URL http://www.sysport.co.jp



第9分科会 中同協:税制・財政

政府の大借金をどうする

～公正・公平な税財政とは何だろうか～

日本財政は、大きな赤字を抱えています。その直接の原因は、歴代政府の国債発行政策にあります。そもそも日本の財政法は、国債発行を禁止しているにもかかわらず、政府が膨大な国債累積を抱えているのはなぜなのか、戦後史を振り返りつつ「大借金をどうするか」を考えます。消費税や外形標準課税を考えるうえで理解が欠かせないテーマとして、学びあいます。

静岡大学 名誉教授
安藤 実 氏

安藤実氏 プロフィール ● 1934年、北海道旭川市生まれ。早稲田大学政経学部卒、法政大学院博士課程修了。静岡大学、札幌学院大学、名古屋学院大学で教職をとる。日本租税理論学会理事長、谷山財政税制研究所理事などを歴任。著書に『富裕層課税論』(桜井書店、2009年)など。



第10分科会 大阪:学校との連携

将来の地域の担い手を育てる大阪府立布施北高校と150社のデュアル教育

～生徒・教員・学校・企業・地域はどう変わったか～

大阪府立布施北高校は、全国で唯一、普通科でデュアルシステムに取り組み、「デュアル総合学科」を設置するまでになりました。同校では2年生から、1年間・週1回、一つの事業所・企業に通います。現在、地域の150を越える事業所が生徒を受け入れ、共に働く中で生きる力を育てています。14年におよぶ取り組みを通じて生徒・教員・学校、そして企業・地域が変わりました。菊地教授をコーディネーターに、創設時から活動を受けてきた(株)大阪工作所・高田会長、現在デュアル総合学科長である湯浅首席教諭の現場での体験から成果と教訓を学びます。

(株)大阪工作所 代表取締役社長
高田 克巳 氏

高田克巳氏 プロフィール ● 大阪府立布施北高等学校 首席教諭(デュアル学科長) ● 創業:1939年/資本金:6,800万円/年商:3億3000万円/社員数:27名 【事業内容】産業機械・産業機器の製作。航空機・H2ロケットの部品製作 URL http://www.osaka-kousaku.co.jp

大阪府立布施北高等学校 教育 総合科学術院 教授
湯浅 健一 氏

湯浅健一氏 プロフィール ● 2006年度から大阪府立布施北高等学校勤務。担任、進路部長を経て、2014年度より首席教諭としてデュアルシステムに本格的にかかわる。事業所の開拓から始まり各学年80名の生徒のインターンシップ先や実習先の割り振り・把握・指導・連携先との打合せ、校内の行事・取組みの企画、校内にあっては関連講座の取り仕切りや関係する30名以上の教員を取まとめて指示を出す。多忙で充実した日々を送る。

早稲田大学 教育 総合科学術院 教授
菊地 栄治 氏

菊地栄治氏 プロフィール ● 愛媛県生まれ。国立教育政策研究所を経て、現在、早稲田大学教育・総合科学術院教授。専門は教育社会学・教育経営学。著書に『希望をつくる高校』(岩波書店)など。大阪府立松原高校との出会いをきっかけにして、布施北高校等などの大阪の学校づくりを中心に学術研究の視点から応援し続ける。





情勢認識・世界経済・日本経済・地域経済

企業づくり

地域づくり・経営環境改善

第11 分科会 中同協:次代を担う青年部活動と企業づくり


われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう ～次代を切り拓く青年経営者の志と実践～

全国で活発に行われている青年部活動。1970年に生まれた青年部活動は、全国に広がりを見せ、中同協では青年部連絡会を設立し、2020ビジョンを掲げ、青年経営者がともに切磋琢磨しながら、学びを経営実践して、強靱な企業づくりに挑戦しています。本分科会では早間氏の実践報告から青年部活動は本当に強靱な企業づくりや同友会の組織強化につながっているのかを考え、同友会や企業の次代のリーダーの育成について学びます。

(株)クニヨシ
早間 雄大 氏
広島同友会 理事 / 中同協青年部連絡会共同代表

(株)クニヨシ ●創業:1992年 / 資本金:1,000万円 / 年商:5億3000万円 / 社員数:37名(内パート1名)

【事業内容】鉄・ステンレス等の一次加工から溶接組立まで一品物から大量生産物まで製作可能
URL <http://kuniyoshi-fukuyama.co.jp>



第12 分科会 中同協:同友会事務局の課題と役員理解

事務局の体制強化に役員理解を高めよう ～会員と事務局員は同友会運動を推進し未来を創造するパートナー～

地域から期待が高まるなか、同友会として対外関係を強化し、体制を確立していく必要があります。一方で、運動を担う事務局の世代交代期にもあり、同友会理念や運動の経験・教訓、あるべき姿を継承していくための採用と育成が大きな課題となっています。同友会の財政強化とともに、事務局の労働環境の整備を行うことも喫緊の課題です。二つの同友会の実践報告をもとに、本テーマを深めます。

京都中小企業家同友会 ●創立年:1970年 / 会員数:1,682名 URL <http://www.kyoto.doyu.jp/>
石川県中小企業家同友会 ●創立年:1976年 / 会員数:410名 URL <http://www.ishikawa.doyu.jp/>

中小企業家同友会全国協議会 幹事長 広浜 泰久 氏

京都中小企業家同友会 専務理事 荻原 靖 氏

石川県中小企業家同友会 専務局長 柴 克也 氏





第13 分科会 大阪:大阪版「エコノミックガーデニング」

自社ブランド商品開発で自立的企業をめざす ～大阪版「エコノミックガーデニング」の取り組みと活用事例～

大阪府の中小企業支援策を活用し、成果をあげているチトセ工業㈱を訪問。その後、クリエイションコア・東大阪に会場を移し、同社社長の中西氏と大阪府商工労働部の領家課長による報告・ディスカッションを行います。同会場には大阪府のモノづくり企業の総合支援拠点「MOBIO」があり、その活動と支援策を活用している企業の実践事例を学ぶ分科会です。

チトセ工業(株) ●創業:1962年 / 資本金:1,000万円 / 年商:6億3000万円 / 社員数:41名

【事業内容】金属プレス加工・炉中ろう付加工・無線機器開発製造ほか
URL <http://www.chitose-kk.co.jp/>

チトセ工業(株) 代表取締役 中西 啓文 氏
大阪府政令指定都市大阪市長 元次長 領家 誠 氏

大阪府商工労働部 中小企業支援室 経営支援課 課長 領家 誠 氏




第14 分科会 大阪:大阪企業家ミュージアム見学/大阪市の支援政策

大阪企業家ミュージアム見学と大阪市の中小企業支援施設=大阪産業創造館 訪問

大阪企業家ミュージアムは、大阪商工会議所の創立120周年記念事業として2001年に開設されました。明治以降、大阪の産業を担い活躍した105名の企業家が紹介されています。NHK連続テレビ小説「あさが来た」に登場した五代友厚の大人気により、過去最高の来館者数を記録しました。続いて創立15年を迎える大阪産業創造館を訪問し、大阪市の中小企業支援策を学びます。産創館が発信する情報誌やWEBを活用した広報企画「ゲンバ男子」が話題となっており中小企業のイメージアップにつながっています。「マッチング」も支援策のキーワードで技術やテーマを絞った展示会を開催し、有効な商談につながっています。

本多哲夫氏プロフィール ●1971年生まれ、長崎県出身。大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(商学)。大阪府立産業開発研究所・研究員を経て、現職。

主著「地域産業政策の実践」(共著、同友会2014年)、「大都市自治体と中小企業政策」(単著、同友会2013年)、「地域産業政策-自治体と実態調査-」(共著、創風社2012年)「現代中小企業論(増補版)」(共著、同友会2011年)

大阪市立大学 商学部 大学院経済学研究科 教授 本多 哲夫 氏

大阪産業創造館 (産創館) 産創館事業部長 多賀谷 元 氏




第15 分科会 大阪:環境経営

全社員による環境経営の実践 ～経験・信頼・技術で循環型社会に貢献する～

経営理念の中に「資源として使った地球の財産を守り、再生し循環型社会に貢献します」と掲げる同社。2011年版「中小企業白書」でも紹介された、産業廃棄物の梅の種を炭化させ紙に抄きこんだ「梅炭クレープ紙 SUMIDECO PAPER」のほか、使用されたコピー用紙等を回収し100%再生する「KAMIDECO」などの取り組みを行っています。中同協「中小企業家エネルギー宣言」採択と自社実践に向けて、学びましょう。

山陽製紙(株) 代表取締役 原田 六次郎 氏
大阪同友会 環境部会幹事

山陽製紙(株) ●創業:1928年 / 設立:1957年 / 資本金:3,000万円 / 年商:10億円 / 社員数:43名

【事業内容】クレープ紙の製造、電子部品用の層間紙、紙の再生サービス、KAMIDECO(紙でエコ)、SUMIDECO(炭でエコ)
URL <http://www.sanyo-paper.co.jp/>



※見学分科会の申込締切日は5月31日(火)です。
※希望者多数の場合、人数調整させていただきます。

2 日目 パネルディスカッション

持続可能な社会をつくり、地域と日本の新しい未来を切り拓く

～エネルギーシフトの学習と実践を～

エネルギーシフトの5つの視点①「企業づくり・仕事づくり」、②「地域づくり」、③「暮らしづくり」、④「国づくり」、⑤「同友会づくり」で学習を進め、取り組みの輪を広げることが必要です。「中小企業家エネルギー宣言(案)」にある持続可能な社会をつくること、そして地域と日本の新しい未来を切り拓くことをめざし、中同協における地球環境委員会、政策委員会、企業連携推進連絡会、経営労働委員会での取り組みやエネルギーシフトの今後の課題について考えます。

中同協会長 鋤柄 修 氏

中同協地球環境委員長 平沼辰雄 氏

中同協企業連携推進連絡会代表 畑野吉雄 氏

中同協政策委員長 石渡 裕 氏

中同協経営労働委員長 中山英敬 氏







特別挨拶



山中 伸弥 氏
京都大学iPS細胞研究所所長・教授

京都大学iPS細胞研究所は、世界初のiPS細胞に特化した研究機関として、2010年4月に設立された。山中伸弥教授が所長を務めており、iPS細胞を使った再生医療・創薬の実用化に向けて日々研究が行われている。iPS細胞技術は病気がけがに苦しむ患者さんに新たな治療法を提供できる可

能性があり、その応用は薬の研究や細胞移植治療など多岐に渡る。世界中で様々な疾患の治療法研究が行われているが、iPS細胞研究所では、400名以上の研究者・研究支援者のうち9割が非正規雇用であり、優秀な人材を確保・維持してiPS細胞の医療応用をすすめる上で大きな課題を抱えている。国からの支援のほとんどは使途が限定されている期限付き資金であるため、長期的に活用できる財源として、「iPS細胞研究基金」への寄付を募っている。

1962年大阪府生まれ。神戸大学医学部卒業。大阪市立大学大学院医学研究科博士課程修了後、米国グラッドストーン研究所へ留学、iPS細胞につながる研究を開始。大阪市立大学医学部薬理学教室助手、奈良先端科学技術大学院大学遺伝子教育センター助教授、同教授、京都大学再生医学研究所教授を経て2010年4月より同iPS細胞研究所所長、教授。2012年より京都マラソンなどに出演し、完走を目標にiPS細胞研究基金への寄付を募っている。自己ベスト:3時間44分42秒。2012年ノーベル生理学・医学賞受賞。

実行委員長ごあいさつ



中同協 第48回定時総会 実行委員長
宮本 眞希 氏
(株)ミヤモト 代表取締役 (大阪同友会副代表理事)

まずは、大阪の地で中同協第48回定時総会が開催されることを大変感謝しております。
「チャレンジ商都・大阪」には、自由で個性的かつ、バイタリティあふれるスピリッツを受け継いでいます。大阪同友会では、「大阪を元気に」を合言葉に全会員が輝く企業づく

りと会勢の更なる前進で迎えること、また大阪の元気を全国に発信し、全国から学び多い総会にすることを目標にしております。
定時総会では、一年間の活動の総括を行い、各地の活動の経験から経営課題を深く学びます。めまぐるしく変化する状況下で、私たち中小企業家は強靱な企業づくりで対応しなければなりません。
活気あふれる大阪の地で皆様のご参加を心よりお待ちしております。

中同協 第48回定時総会開催意義・目的

1. 「中小企業における労使関係の見解」の学びを深め、いかなる環境変化にも対応できる強靱な体質の企業づくりと21世紀型中小企業づくりを推進する総会とします。
2. 地域の再生と被災地の復興推進を旨とし、中小企業意の精神を地域に広げ、中小企業振興基本条例制定運動を推進し、地域の新しい可能性を広げる総会とします。
3. 同友会の歴史と理念に学び、会員の連携をさらに強めて、増える組織・減らない組織づくりをすすめ、5万名会員実現と組織率10%をめざして前進する総会とします。
4. 自主的・平和的な日本経済の繁栄へ向け、人間らしく豊かに平和に暮らせる社会をめざし、エネルギーシフトで持続可能な経済社会づくりを広げる総会とします。



あなたはビリケンさんを知っていますか?

愛嬌のある顔と足を投げ出して座ったふてぶてしい姿。ご存知の方も多いと思います。「あ、知ってる!大阪の妖怪だっけ?」なんていう方も結構多いかもしれませんが、実はビリケンさん、れっきとした神様なんです。大きく突き出したビリケンさんの足の裏は、撫でるとご利益があると言われ、今日も大阪のシンボリックな神様として、多くの人が足の裏を撫でて通天閣を訪れています。手を伸ばせば届く距離にいつも居てくれる、身近な福の神として市民の生活に根付いています。
(※幸福の神様ビリケンさん 公式サイト 参照)